

日商珠算（そろばん）検定1・2・3級試験受験者への注意

制定	昭和28年4月1日
改定	昭和33年3月1日
	昭和42年4月1日
	昭和54年4月1日
	平成3年4月1日
	平成13年4月1日
	平成14年4月1日
	平成16年4月1日
	平成25年4月1日
	平成31年4月1日

1. 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
2. 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につく。
3. 受験するときに持参するもの。
 - (1) 受験票
 - (2) 筆記用具
 - (3) そろばん
 - (4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。但し、小学生以下の方は身分証明書は不要。

4. 答案記入上の注意

- (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書く。
- (2) 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付ける。
- (3) 無名数の答は、次の例のように書く。（例） 0.25 1,427.39 2,905,406
- (4) 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書く。

（例）小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。

そろばん面	答
0.4595 ……0.460	0.46
5.2004 ……5.200	5.2 (5.20とは書かない。)

- (5) 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書く。

そろばん面	答
0.45 ……0.45	.45 (0.450又は.450とは書かない。)
5.2 ……5.2	5.2 (5.20又は5.200とは書かない。)

- (6) 名数の答は、次の例のように書く。

（例） ¥9,528 ¥9,528. ¥9,528 9,528
(¥9,528.0 ¥9,528¥ ¥9,528円 9,528¥のような書き方はしない。)

〔注〕答の頭には、円の記号（¥）を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。

- (7) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしない。
 - (8) 消しゴムの使用は禁止。答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直す。
 - (9) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は（ ）で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書く。
 - (10) 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたりなぞらない。
 - (11) コンマや小数点は、数字の間に書く。数字に触れたり、数字に重ならない。
- ### 5. その他の注意
- (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしない。
 - (2) 計算開始の合図があるまでは、問題用紙を開かない。
 - (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さない。
 - (4) 受験票をなくしたり忘れたりした場合は、試験開始前に再交付を受けて受験する。
 - (5) 携帯電話の電源は完全に切る。